

# Adobe® LiveCycle™ 9.5 Connector for Microsoft® SharePoint® のインストールおよび設定

## 目次

- [「新機能」 \(1 ページ\)](#)
- [「概要」 \(1 ページ\)](#)
- [「インストールの概要」 \(2 ページ\)](#)
- [「システム要件」 \(2 ページ\)](#)
- [「インストールに関する考慮事項」 \(3 ページ\)](#)
- [「クイックフィックスのインストール」 \(3 ページ\)](#)
- [「LiveCycle ES2 の設定」 \(4 ページ\)](#)
- [「SharePoint サーバー Web パーツのインストール」 \(6 ページ\)](#)

## 新機能

### \*9.0.0.2 の新機能\*

- Adobe® LiveCycle™ ES2 SP2 用のクイックフィックスインストーラにより、Microsoft® SharePoint® Server 2010 と LiveCycle ES2 SP2 (9.0.0.2) サーバーを、IBM® AIX®、Linux® および Solaris™ の各プラットフォームで統合することができます。このリリースでは、ユーザーはタスクを管理し、SharePoint Server 2010 内から LiveCycle のフォームを統合できます。このリリースには、SharePoint Server 2010 での権限ベースの権限管理のサポートも含まれています。
- LiveCycle ES2 SP1 用のクイックフィックスインストーラには、LiveCycle ES2 SP1 (9.0.0.1) サーバーのサポートが含まれていました。SP1 リリースでは、SharePoint Connector の既存のインストールを使用しているユーザーが、LiveCycle Configuration Manager を使用して LiveCycle サーバー上のコネクタを設定することができます。
- LiveCycle ES2 用のクイックフィックスインストーラにより、Microsoft Windows® プラットフォームでの Microsoft SharePoint Server 2007 と LiveCycle ES2 の統合が可能になりました。これには、JBoss®、IBM WebSphere® および Oracle WebLogic の各アプリケーションサーバーのサポートが含まれています。

## 概要

LiveCycle ES2 Connectors for ECM 製品ラインの Adobe LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint モジュールを使用すると、LiveCycle ES2 と Microsoft SharePoint Server を統合できます。このモジュールには、2 つのシステム間のエンドツーエンドの接続を容易にする様々な LiveCycle ES2 サービスが含まれています。

Adobe LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を設定すると、SharePoint のユーザーは LiveCycle ES2 の複数の機能にアクセスできます。SharePoint のユーザーは、承認プロセスなどの LiveCycle ES2 プロセスを SharePoint 内から呼び出したり、ドキュメントを Adobe PDF に変換したりできます。LiveCycle ES2 プロセスの SharePoint ワークフロー内からの実行を自動化することもできます。また、PDF 形式やネイティブ形式のファイルで権限を管理できます。

SharePoint 2010 内から、ユーザーは割り当てられている LiveCycle タスクを管理し、新しい LiveCycle タスクを要求できます。さらに、LiveCycle のフォームを SharePoint Server 2010 と統合し、SharePoint をフォームデータのリポジトリとして使用できます。

## インストールの概要

LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint のインストールと初期設定では、次の手順を実行します。

1. LiveCycle ES2 サーバーのシステム要件とインストールに関する考慮事項を確認します。  
次の節を参照してください。
  - [「システム要件」\(2ページ\)](#)
  - [「インストールに関する考慮事項」\(3ページ\)](#)
2. LiveCycle ES2 サーバーにクイックフィックスをインストールします。  
既存の LiveCycle ES2 デプロイメントでクイックフィックスインストーラを実行します。詳しくは、[「クイックフィックスのインストール」\(4ページ\)](#) を参照してください。
3. LiveCycle Configuration Manager を使用してクイックフィックスを設定します。  
LiveCycle Configuration Manager を実行して、LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint 機能を LiveCycle ES2 インストールに追加し、設定します。詳しくは、[「LiveCycle ES2 の設定」\(4ページ\)](#) を参照してください。
4. SharePoint サーバーに LiveCycle ES2 機能をインストールします。  
インストールパラメータを変更し、バッチファイルを実行して、SharePoint サーバーに LiveCycle ES2 の機能をインストールします。詳しくは、[「SharePoint サーバー Web パーツのインストール」\(6ページ\)](#) を参照してください。

LiveCycle ES2 および SharePoint サーバーで LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint の設定を完了するには、「LiveCycle 9.5 Connector の設定」ドキュメントで説明しているタスクを完了してください。

## システム要件

LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint は、Microsoft Windows、AIX、Linux、Solaris の各プラットフォームにインストールされている既存の LiveCycle ES2 SP2 (9.0.0.2) 上にインストールできます。サポートされているアプリケーション サーバーは、Red Hat® JBoss、WebLogic および WebSphere です。Windows プラットフォームでサポートされている LiveCycle ES2 の設定については、『[LiveCycle ES2 のインストール準備](#)』ガイドを参照してください。

LiveCycle ES2 サービスを使用するには、現在インストールされている LiveCycle ES2 で、次のモジュールがインストールおよび設定されていることを確認してください。

- **Adobe LiveCycle PDF Generator ES2** : Microsoft Word など、PDF Generator ES2 のネイティブアプリケーションサポートを提供するファイルから Adobe PDF ドキュメントを作成するために必要です。
- **Adobe LiveCycle Rights Management ES2** : Adobe PDF ドキュメントに対するユーザー権限を適用するために必要です。Rights Management ES2 を使用すると、許可されたユーザーのみがドキュメントにアクセスできます。
- **Adobe LiveCycle Reader Extensions ES2** : 使用権限を追加して Adobe Reader® 8.0 以降の機能を拡張することによって、インタラクティブな PDF ドキュメントを共有するために必要です。この追加の使用権限は、ドキュメントへのコメントの追加、フォームへの入力、ドキュメントの保存など、Adobe Reader を使用して PDF ドキュメントを開いた場合には使用できない機能をアクティブにします。ユーザーは、使用権限を付与された Adobe PDF ドキュメントを扱うためにソフトウェアまたはプラグインを追加する必要はありません。

**注意** : MSharePointContentRepositoryConnector サービスで使用可能な API を使用する場合や、SharePoint 内から LiveCycle プロセスを呼び出す場合は、PDF Generator、Rights Management および Reader Extensions の各モジュールは不要です。これらのサービスの設定について詳しくは、[LiveCycle ES2 管理ヘルプ](#)を参照してください。

## インストールに関する考慮事項

LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint をインストールする前に、次の点を考慮します。

- LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を SharePoint サーバーにインストールすると、インストールプロセスによって Windows IIS Server が停止し、再起動します。インストールを実行する前に、他のサイトや Web アプリケーションで IIS Server 上のサービスが使用されていないことを確認してください。インストールを行う前に、IIS の管理者に問い合わせてください。
- クイックフィックスのインストールおよび設定のプロセス中に、LiveCycle Configuration Manager によって JBoss アプリケーション サーバーが停止し、再起動します。LiveCycle ES2 デプロイメントが JBoss アプリケーションサーバー上にあり、短時間のプロセスを実行している場合は、実行中のプロセスが完了してから、インストールプロセスを開始してください。LiveCycle ES2 でのプロセスの管理については、[LiveCycle ES2 管理ヘルプ](#)を参照してください。
- LiveCycle Configuration Manager では、クイックフィックスのインストールおよび設定のプロセス中に、WebLogic または WebSphere アプリケーションサーバーを再起動する必要があります。LiveCycle ES2 デプロイメントが WebLogic または WebSphere アプリケーションサーバー上にある場合は、LiveCycle ES2 EAR のデプロイメント完了後に LiveCycle ES2 サーバーを再起動します。詳しくは、設定プロセスの手順 [17](#) を確認してください。
- LiveCycle ES2 サーバーは、PDF Generator ES2 や Rights Management ES2 など、SharePoint ユーザーがアクセスできるようにしたいサービスを含むように設定する必要があります。LiveCycle 管理コンソールを使用した LiveCycle ES2 の設定について詳しくは、[LiveCycle ES2 管理ヘルプ](#)を参照してください。
- IPv6 環境で LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を実行する場合は、必ず、SharePoint Server をデュアルスタック (IPv4 および IPv6 を両方ともサポート) で起動してください。コネクタは Pure IPv6 デプロイメントシナリオでは動作しません。

## クイックフィックスのインストール

LiveCycle ES2 サーバー上のインストールプロセスでは、次の手順を実行します。

- [「インストールパッケージのダウンロード」](#) (3 ページ)
- [「クイックフィックスのインストール」](#) (4 ページ)

## インストールパッケージのダウンロード

Adobe ESD ダウンロードサイトからインストールパッケージをダウンロードして、パッケージを解凍します。インストールパッケージは、アプリケーションサーバーに固有のフォルダを含む ZIP ファイルです。各フォルダには `¥Docs` フォルダが含まれ、その中には次のファイルが含まれています。

- `adobe-connectorformssharepoint-javadocs.zip` : API ドキュメントが含まれています。
- `install_sharepoint.pdf` : インストールと初期設定の手順が説明されています。

**注意 :** SharePoint Connector の設定方法と使用方法については、『Adobe LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint の設定』および『Adobe LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint ユーザーガイド』を、それぞれ参照してください。

## クイックフィックスのインストール

1. LiveCycle ES2 サーバーと統合する Microsoft SharePoint サーバーが実行中であることを確認します。
2. LiveCycle ES2 サーバーで、クイックフィックスインストーラが含まれているフォルダに移動して、次のいずれかをダブルクリックします。
  - lces2\_qf\_install.exe (Windows プラットフォームの場合)
  - lces2\_qf\_install.bin (Linux、Solaris または AIX のプラットフォームの場合)
3. ようこそ画面で「次へ」をクリックします。
4. インストールフォルダを選択画面で、LiveCycle ES2 のインストール先フォルダを選択して、「次へ」をクリックします。
5. クイックフィックスパッチの概要画面で、詳細を確認して「次へ」をクリックします。
6. プリインストールの概要画面で、詳細を確認して「インストール」をクリックします。
7. インストールが完了したら、パッチを適用画面で「次へ」をクリックします。  
既存のファイルは、新しくインストールしたファイルに、適宜置き換えられます。
8. インストール完了画面で、「LiveCycle Configuration Manager を起動」オプションを選択して「完了」をクリックします。  
LiveCycle Configuration Manager を後から実行する場合は、このオプションの選択を解除します。

インストールが完了すると、SharePoint サーバー用のインストールファイルを含む Adobe LiveCycle Connector.zip ファイルが、[LiveCycleES2 root]¥plugins¥sharepoint フォルダに配置されます。

## LiveCycle ES2 の設定

LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を LiveCycle ES2 サーバー上にインストールしたら、LiveCycle Configuration Manager を実行して設定を完了します。

1. [LiveCycleES2 root]¥configurationManager¥bin フォルダに移動して、次のいずれかをダブルクリックします。
  - ConfigurationManager.exe (Windows プラットフォームの場合)
  - ConfigurationManager.sh (Linux、Solaris または AIX のプラットフォームの場合)LiveCycle Configuration Manager が表示されます。
2. Adobe LiveCycle ES2 をご利用いただき、ありがとうございます画面で「次へ」をクリックします。
3. アップグレードタスクの選択画面で、オプションを何も選択せずに、「次へ」をクリックします。
4. **(自動インストールのみ)** カスタムモードとして自動モードを選択し、「次へ」をクリックします。
5. モジュールの選択画面で、含める LiveCycle ES2 モジュールを選択して、「次へ」をクリックします。LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint は必ず選択してください。

モジュールの選択画面では、現在インストールされている LiveCycle ES2 モジュールもすべて必ず選択してください。インストールされているモジュールの選択を解除すると、LiveCycle Configuration Manager によって、該当するモジュールが既存のデプロイメントから削除されます。PDF Generator ES2、Rights Management ES2 および Reader Extensions ES2 の機能を SharePoint に実装するには、モジュールの選択画面でこれらのモジュールを選択します。

**注意：** LiveCycle Configuration Manager に表示される画面は、選択したモジュールによって異なります。したがって、以下で説明する画面以外の画面が表示される場合もあります。詳しくは、LiveCycle Configuration Manager 画面で F1 キーを押してください。

6. タスク選択画面で、LiveCycle Configuration Manager で実行するタスクを選択し、「次へ」をクリックします。次のタスクは必ず選択してください。

- LiveCycle ES2 EAR の設定
- **(WebLogic のみ)** JDBC モジュールを LiveCycle ES2 EAR にパッケージ（データソースをセキュリティで保護）

**注意：** LiveCycle ES2 で XML フォームを処理する必要がある場合は、「JDBC モジュールを LiveCycle ES2 EAR にパッケージ（データソースをセキュリティで保護）」オプションは選択しないでください。LiveCycle Configuration Manager を実行後に WebLogic サーバー上でデータソースをセキュリティで保護するには、次の [technote](#) を確認してください。

- LiveCycle ES2 EAR のデプロイ
  - LiveCycle ES2 コンポーネントのデプロイ
  - LiveCycle ES2 コンポーネントのデプロイメントの検証
  - LiveCycle ES2 コンポーネントの設定
7. LiveCycle ES2 を設定 (1/5) 画面で、「設定」をクリックします。設定手順が完了したら、「次へ」をクリックします。
8. LiveCycle ES2 を設定 (2/5) 画面で、「設定を編集」をクリックして、必要に応じてフォントディレクトリを変更します。完了したら、「次へ」をクリックします。
9. LiveCycle ES2 を設定 (3/5) 画面で、「設定を編集」をクリックして、必要に応じてフォントディレクトリを変更します。完了したら、「次へ」をクリックします。
10. LiveCycle ES2 を設定 (4/5) 画面で、「設定を編集」をクリックして、必要に応じてフォントディレクトリを変更します。完了したら、「次へ」をクリックします。
11. 永続的なドキュメントストレージを設定 (5/5) 画面で、「設定を編集」をクリックして、必要に応じてグローバルドキュメントストレージオプションを変更します。GDS オプションを変更する場合は、「設定」をクリックして GDS の新しい場所を設定します。完了したら、「次へ」をクリックします。
12. **(WebLogic のみ)** JDBC モジュールを LiveCycle ES2 EAR にパッケージ (1/2) 画面で、詳細を入力して「データベース接続をテスト」をクリックします。接続のテストが終了したら、「次へ」をクリックします。
13. **(WebLogic のみ)** JDBC モジュールを LiveCycle ES2 EAR にパッケージ (2/2) 画面で、暗号パスワードを指定して「設定」をクリックします。完了したら、「次へ」をクリックします。
14. Acrobat を LiveCycle PDF Generator に合わせて設定画面で、「設定」をクリックします。完了したら、「次へ」をクリックします。
15. LiveCycle ES2 の概要を設定画面で、「次へ」をクリックします。
16. LiveCycle ES2 IVS EAR の対象範囲の確認画面で、「次へ」をクリックします。
17. LiveCycle ES2 EAR のデプロイ画面で、デプロイする EAR を選択し、「デプロイ」をクリックします。このプロセスが完了したら、次のいずれかの手順を実行します。
- **(JBoss のみ)** 「次へ」をクリックします。
  - **(WebLogic および WebSphere のみ)** LiveCycle Configuration Manager を終了せずに、アプリケーションサーバーを再起動します。アプリケーションサーバーがオンラインに戻ったら、「次へ」をクリックします。

18. LiveCycle ES2 サーバー情報画面で、管理者のログイン名とパスワードを入力し、「サーバー接続を検証」をクリックします。接続の検証が終了したら、「次へ」をクリックします。
19. LiveCycle コンポーネントのデプロイメント画面で、「デプロイ」をクリックしてコンポーネントをデプロイします。完了したら、「次へ」をクリックします。
20. LiveCycle コンポーネントのデプロイメントの検証画面で、「検証」をクリックします。完了したら、「次へ」をクリックします。
21. LiveCycle コンポーネントを設定画面で、「LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を設定」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
22. **(WebLogic および WebSphere のみ)** LiveCycle サーバー JNDI 情報画面で、情報を確認して「接続をテスト」をクリックします。接続のテストが終了したら、「次へ」をクリックします。
23. Adobe LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を設定画面で、次の詳細を入力して「設定」をクリックします。完了したら、「次へ」をクリックします。
  - ホスト名：SharePoint サーバーのホスト名を <hostname>:<port> の形式で入力します。SharePoint サーバー上の Web アプリケーションのポート番号を指定します。
  - ユーザー名とパスワード：SharePoint サーバーへの接続に使用するユーザーアカウントを指定します。
  - ドメイン名：SharePoint サーバーが存在しているドメインを入力します。

**注意：** LiveCycle 9.5 Connector for Microsoft SharePoint を、後から LiveCycle 管理コンソールを使用して設定する場合は、手順 [23](#) をスキップしてください。
24. 概要画面で、「次へ」をクリックして次の手順画面を表示します。「完了」をクリックして LiveCycle Configuration Manager を終了します。

## SharePoint サーバー Web パーツのインストール

1. 使用する SharePoint サーバーが次の要件を満たしていることを確認します。
  - Microsoft SharePoint Server 2007 または 2010
  - Microsoft .NET Framework 3.5
2. クイックフィックスをインストールした LiveCycle ES2 サーバーが実行中であることを確認します。
3. LiveCycle ES2 サーバー上の [LiveCycleES2 root]¥plugins¥sharepoint ディレクトリに移動します。
4. Adobe LiveCycle Connector-2007.zip ファイルまたは Adobe LiveCycle Connector-2010.zip ファイルを、SharePoint をホストする Windows サーバー上のフォルダにコピーします。
5. Adobe LiveCycle Connector.zip ファイルを解凍します。  
解凍されたファイルには、Install.bat ファイルが含まれます。
6. Install.bat ファイルをテキストエディタで開きます。

7. 次のエントリを探して編集し、使用する SharePoint サーバーのファイルとフォルダのパスを指定します。

|   |  |
|---|--|
| @SET GACUTILEXE                                 | GAC ユーティリティのパスを指定するように変更します。   |
| @SET TEMPLATEDIR                                | IIS Server の TEMPLATE ディレクトリのパスを示すように編集します。  |
| @SET ISAPIDIR<br>(SharePoint Server 2010<br>のみ) | IIS Server の ISAPI ディレクトリのパスを指定するように変更します。   |
| @SET RESOURCEDIR                                | IIS Server の Resources ディレクトリのパスを示すように編集します。   |
| @SET WEBAPPPDIR                                 | 指定されているデフォルト値と異なる場合は、IIS Server の WEBAPPPDIR のパスを指定するように更新します。   |
| @SET SITEURL                                    | LiveCycle ES2 機能をアクティブにする SharePoint サイトの URL を指定するように編集します。<br><br><b>注意：</b> LiveCycle ES2 機能は、SharePoint サーバー上の Web アプリケーションにインストールされ、URL を指定したサイト上でのみアクティブになります。他の SharePoint サイトについては、各サイトのサイトの設定ページで後から LiveCycle ES2 の機能をアクティブにすることができます。詳しくは、SharePoint のヘルプを参照してください。 |
| @SET STSADM                                     | STSADM ユーティリティのパスを指定するように変更します。  |

8. ファイルを保存して閉じます。

9. Install.bat ファイルを実行します。

バッチファイルが実行されると、SharePoint サイトは他のサービスで使用できなくなります。バッチファイルでは、次の操作が実行されます。

- AdobeLiveCycleConnector.dll ファイル、AdobeLiveCycleWorkflow.dll ファイルおよび AdobeLCSharepoint.dll ファイルが SharePoint server 2007 および 2010 用に登録されます。SharePoint server 2010 の場合は、AdobeLCTaskManager.dll ファイル、AdobeLCFormsIntgrListExtnWebService.dll ファイルおよび AdobeLCFormsIntgr.dll ファイルも登録されます。これらの DLL により、LiveCycle ES2 機能が SharePoint サーバーに統合されます。
- 以前にインストールされていた SharePoint コネクタがアンインストールされます。
- テンプレートファイルが WSS ¥TEMPLATE ディレクトリにコピーされます。
- リソースファイルが WEBAPPPDIR¥App\_GlobalResources ディレクトリにコピーされます。
- LiveCycle ES2 の機能が、Web サーバーの拡張機能とあわせてインストールされてアクティブになります。
- インストーラが閉じて、プロンプトが戻ります。

10. IIS Web アプリケーションフォルダを設定します。

- a. Adobe LiveCycle Connector.zip ファイルを解凍したときに作成された sharepoint-webpart フォルダに移動します (手順 5)。
- b. AdobeLiveCycleConnector.dll.config ファイルをテキストエディタで開きます。
- c. <system.serviceModel> タグと </system.serviceModel> タグの間の内容 (開始タグと終了タグを含む) をコピーして、ファイルを閉じます。
- d. バッチファイルで指定したコンピュータ上の IIS サービスの Web アプリケーションのホームディレクトリに移動します。

通常は、このディレクトリは WEBAPPPDIR ディレクトリと同じです (C:¥Inetpub¥wwwroot¥wss¥VirtualDirectories¥<port>)。

- e. web.config ファイルのバックアップコピーを作成します。
- f. 元の web.config ファイルを開きます。
- g. コピーしたテキストを、</configuration> タグの前に追加します。
- h. ファイルを保存して閉じます。

# Copyright

© 2010 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle™ 9.5 Connector for Microsoft® SharePoint® のインストール  
2010年9月24日

This installation guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the guide; and (2) any reuse or distribution of the guide contains a notice that use of the guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>.

Adobe, the Adobe logo, LiveCycle, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. IBM, AIX, and WebSphere are trademarks of International Business Machines Corporation in the United States, other countries, or both. Linux is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries. Microsoft, SharePoint, and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Red Hat and JBoss are trademarks or registered trademarks of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. Solaris is a trademark or registered trademark of Oracle and/or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.